

発生動向の概況

手足口病は 6 月下旬～7 月上旬をピークに減少していましたが、再度増加に転じています。西条地区での多発は収まりつつありますが、八幡浜地区では急増し、6 月中旬の流行期を越える患者報告がありました。咽頭結膜熱(プール熱)は 7 月以降の八幡浜地区の多発も収まり県内全域で減少傾向です。ヘルパンギーナ(夏かぜの一種)は 1991 年以降最も大きな流行となっていました。県内全域で散発程度の発生となり、ほぼ終息したようです。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は中予及び今治、宇和島地区でやや発生し始め、増加傾向です。この疾患は年間を通じて患者がみられますが、特に春から初夏、秋から冬にかけて患者発生が多くなります。症状は発熱と全身倦怠感、咽頭痛などで、しばしば嘔吐を伴います。うがい・手洗い等の感染予防を励行してください。

インフルエンザが第 37 週に松山市及び西条地区で発生しています。散発程度の発生で、全国でも流行の兆しはありませんが、からだの抵抗力を高めるために日ごろから十分な休養と栄養を心がけましょう。

麻しん(はしか)の届出が続いています。愛媛県内では、7 月以降 29 例の届出がありましたが、このうちワクチン接種歴不明であった 3 例を除く 26 例中 24 例*(92%)の方にワクチン接種歴がありませんでした。(*麻しん患者と接触直後のワクチン接種は未接種者を含む)。麻しんウイルスは感染力が非常に強く、うがい、手洗い等の一般的な感染症予防方法では十分な効果が期待できません。最も有効な予防方法は予防接種です。定期予防接種時期に達した方は早めに予防接種を受けましょう。予防接種については、市町予防接種担当課へお問い合わせください。

県内での感染症発生状況

全数把握感染症(結核は除く)

五類感染症 : クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例(孤発性)
梅毒 1 例(早期顕症 期)
麻しん 2 例(ともに女性、年齢区分: 20 歳代 1 例、30 歳代 1 例)

定点把握感染症(数字は最新週の定点当たり報告数、発生地区は保健所名を記載)



	愛媛県推移	県内の傾向
咽頭結膜熱	0.6	7 月以降の八幡浜地区の多発が収まり、県内全域で散発程度の発生。
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.8	ほぼ例年どおりの動向で増加傾向。中予及び今治、宇和島地区で発生。
手足口病	2.1	西条地区の多発は収まりつつあるが、八幡浜地区で急増している。

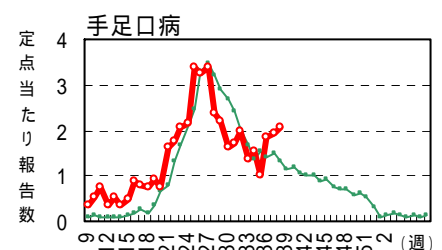
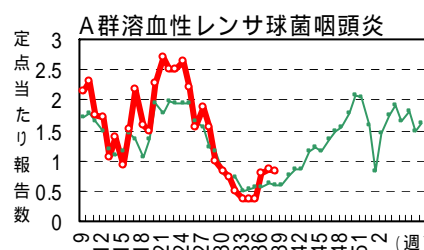
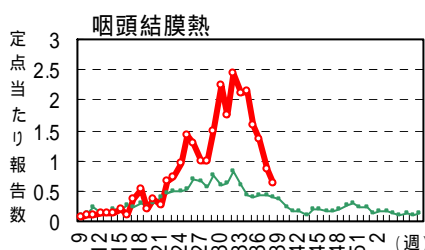
解析評価委員のコメントから

インフルエンザ : 西条市医師会からの情報によると、旧東予市で第 38 週に 17 人発生しています。一部の地域で発生しているようです。(東予)

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎 : 今治市でやや発生しています。(東予)
引き続きみられますが、それほど多くありません。(中予)
今治と宇和島地区で増加傾向ですが、外来ではあまり多いと感じません。(南予)

手足口病 : 西条市、新居浜市でまだ多いですが、先週くらいから少し減ってきました。ピークは過ぎたようです。(東予)
散発的にみられる程度です。施設によって発生しているところがあるようです。(中予)

過去 30 週の動向 ( : 過去 30 週の動向、  : 過去 10 年の平均)



病原体検出情報

第 36 週に松山市で採取された気管支炎の患者検体からエコーウイルス 30 型が検出されています。また、不明熱(第 36 週)及び下気道炎(第 34 週)患者検体からエンテロ様ウイルスが 1 例ずつ検出され現在同定中です。その他の呼吸器感染症では、溶レン菌咽頭炎患者検体から A 群溶レン菌が検出されています。

感染性胃腸炎は患者数が非常に少ない時期です。定点からの検体も少なく、第 32 週以降病原体は検出されていません。

と蓄場ブタ血清の日本脳炎ウイルス抗体保有状況調査では、7 月下旬に初めて HI 抗体が検出されたものの、8 月上旬、中旬と抗体は検出されず、その後も、抗体陽性率は 8 月下旬で 10%、9 月上旬になっても 60%にとどまり、100%に達しませんでした。2ME 感受性抗体は、7 月下旬に 25%、8 月下旬には検出されず、9 月上旬に 9%認められました。これらのことから、愛媛県では、日本脳炎ウイルスによる豚の汚染は低く、ウイルスの活動期も比較的短期間であったことが推察されました。なお、現在までに、県内での日本脳炎患者の届出はありません。

愛媛県におけるブタの日本脳炎ウイルス抗体保有状況
 HI抗体：ブタが日本脳炎ウイルスに感染した事があるかがわかります。
 2ME感受性抗体：最近感染したかどうかわかります。

採血月日	検査頭数	HI抗体陽性数 ¹⁾	2ME感受性抗体	
			検査件数 ²⁾	陽性数
7月 7日	20	0	-	-
7月 18日	20	0	-	-
7月 28日	20	6(30%)	4	1(25%)
8月 6日	20	0	-	-
8月 13日	20	0	-	-
8月 25日	20	2(10%)	1	0(0%)
9月 8日	20	12(60%)	11	1(9%)
9月 16日	20	0	-	-

1) HI抗体価は1:10以上を陽性としました。

2) 2ME感受性抗体は、HI抗体価が1:40以上であった検体について検査しました。

過去5週 検出病原体

(8月18日以降採取検体)

週	期間	発生地区	臨床診断名	検出病原体	検体	例数
36	9/1~9/7	松山市	溶レン菌咽頭炎	A群溶レン菌	咽頭ぬぐい液	1
			下気道炎	エコー 30	咽頭ぬぐい液	1

月別病原体検出結果

検出病原体	2008							合計
	4	5	6	7	8	9		
ウイルス	コクサッキーA10			1				1
	コクサッキーA16			1				1
	コクサッキーB5	5	2	7	3	1		18
	エコー 30				2		1	3
	インフルA香港		1					1
	ムンプス				1			1
	ロタ	16	1	1				18
	ノロ	7	7	4	1			19
	サポ	1						1
	アデノ	1	3	1				5
	アデノ 1	2			1			3
アデノ 3		1	1	4			6	
アデノ 5		1					1	
ウイルス計	32	16	16	12	1	1	78	
細菌	下痢原性大腸菌			1				1
	カンピロバクター				2			2
	A群溶レン菌	3	3	5	1		1	13
	G群溶レン菌				1			1
	百日咳菌		5					5
細菌計	3	8	6	4		1	22	

臨床診断名別検出結果 (2008年7月以降採取検体)

検出病原体	溶レン菌咽頭炎	感染性胃腸炎	流行性耳下腺炎	無菌性髄膜炎	下気道炎	上気道炎	不明熱	合計
コクサッキーB5				2		1	1	4
エコー 30				2	1			3
ムンプス			1					1
ノロ		1						1
アデノ 1					1			1
アデノ 3					1		3	4
ウイルス計		1	1	4	3	1	4	14
カンピロバクター		2						2
A群溶レン菌	2							2
G群溶レン菌	1							1
細菌計	3	2						5

愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 38 週 (2008.9.15 ~ 9.21)

患者報告数	1) インフルエンザ	小児科定点											眼科定点		基幹定点				四国中央 西条 今治 松山市 松山 八幡浜 宇和島			
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	3) マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		
保健所別	四国中央	1	1			10	1	4		6			1									四国中央
	西条					27	5	18		7					3							西条
	今治		3	10		6	7	1		4				6								今治
	松山市	2	6	10	68	6	6	18		15			6	9	6	-	-	-	-			松山市
	松山		7	5	7	2	11			3	2											松山
	八幡浜		5		3		23	2	8			1	2									八幡浜
	宇和島		1	5			2	2	2				3			1						宇和島
週推移	愛媛県	3	23	30	121	21	77	2	45	2	8	15		15		1	3					愛媛県
	1週前	2	1	32	32	113	22	71	4	48		20	36				2					1週前
	2週前		3	50	29	144	27	69		53	3	38	34	1			1					2週前
	3週前			59	13	104	21	38		61	5	21	23				3					3週前
年齢別	0-5ヶ月	2				1	1			1												0
	6-11ヶ月					11	1	5	2	23		1										1-4
	1			2	1	18	1	11		20		2			1		1	1				5-9
	2	1		5	4	16	3	18		1		4	3				1					10-14
	3			4	3	9	2	11				1	2									15-19
	4			5	4	14	6	15					3									20-24
	5			5	4	11	4	11					3									25-29
	6				4	6	1	3					1									30-34
	7				2	5		2														35-39
	8		1		3	8		1			1		2									40-44
	9				2	7	1				1											45-49
	10-14			1	2	8	1															50-54
	15-19				1	4																55-59
	20-29 ⁴⁾					3								2								60-64
	30-39													4								65-69
	40-49													1								70-
	50-59													2								
	60-69																					
	70-79 ⁵⁾																					
	80-																					

年齢別（基幹定点疾患）

定点当たり報告数

保健所別	四国中央				3.3	.3	1.3		2.0			.3	-	-								四国中央
	西条	.2	.2		4.5	.8	3.0		1.2		.2			3.0								西条
	今治		.6	2.0	1.2	1.4	.2		.8				6.0									今治
	松山市	.2	.5	.9	6.2	.5	1.6		1.4		.5	.8		2.0	-	-	-	-				松山市
	松山		1.8	1.3	1.8	.5	2.8		.8	.5												松山
	八幡浜		1.3		.8		5.8	.5	2.0		.3	.5										八幡浜
	宇和島		.3	1.3			.5	.5	.5			.8				1.0						宇和島
	愛媛県	.1	.6	.8	3.3	.6	2.1	.1	1.2	.1	.2	.4		1.9		.2	.5					愛媛県

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は9月24日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

愛媛県 定点把握五類感染症 2008年 第 37 週 (2008.9.8 ~ 9.14)

患者報告数		1) インフルエンザ	小児科定点										眼科定点		基幹定点						
			RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	菌頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎		3) マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
保健所別	四国中央	1		1		7	1	2		1	2							2		四国中央	
	西条			1	3	30	8	34	2	12		6	1							西条	
	今治			6	6	8	4	1		8		1	1		6					今治	
	松山市		1	1	7	13	51	5	15	2	15		5	8		4	-	-	-	-	松山市
	松山				9	6	11	1	8		5		1	6		3					松山
週推移	八幡浜			7	2	6	1	11		6		3	13		6					八幡浜	
	宇和島			1	2		2		1		2	7								宇和島	
	愛媛県	2	1	32	32	113	22	71	4	48		20	36		19			2		愛媛県	
	1週前		3	50	29	144	27	69		53	3	38	34	1	17			1		1週前	
年齢別	2週前			59	13	104	21	38		61	5	21	23		20			3		2週前	
	3週前		1	79	14	143	34	57	1	68	2	45	30		32			4		3週前	
	0-5ヶ月					5	3		7											0	
6-11ヶ月	1				10	1	2	1	25		2								1-4		
1			3	1	18	5	14	1	16		8	4		1					5-9		
2			8	1	16	6	17	1			5	3		1				2	10-14		
3			2	6	14	3	13				3	8							15-19		
4			8	1	7	1	11	1				2							20-24		
5			6	7	6	3	5				2	9		1					25-29		
6			3	3	9		5					2		1					30-34		
7				3	9		1					2		1					35-39		
8				3	6		2					2		1					40-44		
9				3	4							1		1					45-49		
10-14				1	4	6						2		2					50-54		
15-19					2									1					55-59		
20-29 ⁴⁾	1		1		1		1					1		4					60-64		
30-39														3					65-69		
40-49	1													2					70-		
50-59														1							
60-69																					
70-79 ⁵⁾																					
80-																					

年齢別（基幹定点疾患）

定点当たり報告数

保健所別	四国中央		.3		2.3	.3	.7		.3		.7		-	-			2.0		四国中央	
	西条	.1		.2	.5	5.0	1.3	5.7	.3	2.0		1.0	.2						西条	
	今治			1.2	1.2	1.6	.8	.2		1.6		.2	.2		6.0				今治	
	松山市	.1	.1	.6	1.2	4.6	.5	1.4	.2	1.4		.5	.7		1.3	-	-	-	-	松山市
	松山			2.3	1.5	2.8	.3	2.0		1.3		.3	1.5		3.0					松山
八幡浜			1.8	.5	1.5	.3	2.8		1.5		.8	3.3		6.0					八幡浜	
	宇和島			.3	.5	.5			.3		.5	1.8							宇和島	
愛媛県	.0	.0	.9	.9	3.1	.6	1.9	.1	1.3		.5	1.0		2.4			.3		愛媛県	

- 1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く。 2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。 3) オウム病を除く。
 4) 小児科定点疾患については20歳以上の全患者数を"20-29"に計上。 5) 眼科定点疾患については70歳以上の全患者数を"70-79"に計上。

(参考) 保健所別定点数

定 点 数	愛媛県	四国中央	西 条	今 治	松山市	松 山	八幡浜	宇和島
インフルエンザ定点	61	5	10	8	17	7	7	7
小児科定点	37	3	6	5	11	4	4	4
眼科定点	8	-	1	1	3	1	1	1
基幹定点	6	1	1	1	-	1	1	1

注) 表中の報告数は9月17日集計分であり、その後の報告数は次週以降に反映されます。

全国 定点把握感染症 第36、37週 (2008.9.1～9.14)

(定点当たり報告数)

	1)	小児科定点											眼科定点		基幹定点				
		RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	2) 細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	3) クラミジア肺炎	
36週	愛媛県	.1	1.4	.8	3.9	.7	1.9		1.4	.1	1.0	.9	.1	2.1			.2		
	近畿県	香川県	.0	.2	.6	.2	3.7	.3	1.4	.0	.9		.5	.2		.7			
		徳島県		1.2	1.0	.3	2.8	1.8	.5		.9		.8	.5		.5			
		高知県		.2	.6	.4	2.6	.4	.4	.1	.4		.4	1.3		2.0		.3	
	全 国	.0	.3	.5	.8	3.1	.6	1.8	.1	.8	.0	1.1	.4	.0	.8	.0	.0	.4	.0
	北海道		.1	.4	1.1	1.1	.6	2.6	.1	.5	.0	1.9	.1	.0	.7			.1	
	東北		.2	.2	.8	2.6	.5	1.5	.2	.8	.0	2.6	.3	.0	.4		.0	.6	.1
	関東	.0	.1	.3	.9	2.8	.5	1.5	.1	.9	.0	.9	.3	.0	.9	.0	.0	.4	.1
	甲信越北陸	.0	.2	.5	1.0	3.0	.7	5.3	.1	.7	.1	2.4	.3	.0	.4	.0	.0	.2	.0
	東海	.0	.1	.4	.7	3.1	.5	1.6	.0	.9	.0	.5	.5		.6	.1		.6	.1
近畿	.0	.3	.5	.7	3.0	.5	1.0	.0	.7	.0	.7	.4	.0	.6	.0	.1	.4		
中国四国	.0	.4	.6	.7	3.9	.7	1.5	.1	.9	.0	.7	.4	.0	1.3		.1	.2		
九州沖縄	.0	1.0	1.1	.9	4.0	.7	1.9	.0	1.0	.0	.8	.7	.0	1.6	.0	.1	.3		

(2008.9.10集計)

37週	愛媛県	.0	.0	.9	.9	3.1	.6	1.9	.1	1.3		.5	1.0		2.4			.3		
	近畿県	香川県	.1	.6	.7	.5	3.9	.6	1.1		.9	.1	.5	.4		.7				
		徳島県		1.2	.8	.7	3.0	.8	.1	.1	.6		.8	.3		.3				
		高知県		.3	.7	.2	2.6	.5	.8	.0	.5	.1	.3	1.4		.3			.1	
	全 国	.0	.3	.4	.9	3.0	.5	1.8	.1	.8	.0	1.0	.5	.0	.8	.0	.1	.4	.0	
	北海道		.1	.2	1.5	1.1	.4	3.5	.0	.6	.0	2.4	.1		.3			.1		
	東北	.0	.1	.2	.6	2.4	.5	1.7	.1	.9	.0	2.6	.3	.1	.7	.0		.9	.0	
	関東	.0	.1	.3	1.0	2.9	.4	1.4	.1	.9	.0	.8	.4	.0	.9		.2	.6	.0	
	甲信越北陸		.3	.3	.9	2.8	.5	4.5	.1	.7	.1	1.9	.3		.5			.4	.0	
	東海		.1	.5	.9	3.0	.5	1.8	.0	.9	.0	.5	.6	.0	.5	.1	.1	.2	.1	
近畿	.0	.4	.4	.8	3.1	.4	1.1	.1	.7	.0	.6	.5	.1	.5		.0	.4	.0		
中国四国	.0	.4	.5	.8	3.7	.5	1.4	.1	.8	.0	.5	.4		.9	.0	.0	.2			
九州沖縄	.0	1.1	.8	.8	3.9	.6	1.6	.1	1.1	.1	.7	.9	.0	2.1		.1	.2			

(2008.9.17集計)

1) 鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除く。

2) 髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

3) オウム病を除く。

全国 全数把握感染症 第36、37週 (2008.9.1 ~ 9.14)

疾病名	二類		三類感染症					四類感染症														五類感染症																					
	(1) 急性灰白髄炎	(2) 結核	(1) コレラ	(2) 細菌性赤痢	(3) 腸管出血性大腸菌感染症	(4) 腸チフス	(5) パラチフス	(1) E型肝炎	(3) A型肝炎	(4) エキノコックス症	(6) オウム病	(10) Q熱	(12) コクシジオイデス症	(18) つつが虫病	(19) デング熱	(23) 日本紅斑熱	(24) 日本脳炎	(28) ブルセラ症	(30) 発疹チフス	(32) ボツリヌス症	(33) マラリア	(34) 野兔病	(35) ライム病	(39) レジオネラ症	(40) レプトスピラ症	(1) アメーバ赤痢 (E型及びA型肝炎を除く)	(2) ウイルス性肝炎	(3) 急性脳炎	(4) クリプトスポリジウム症	(5) クロイツフェルト・ヤコブ病	(6) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症	(7) 後天性免疫不全症候群	(8) ジアルジア症	(9) 髄膜炎菌性髄膜炎	(10) 先天性風しん症候群	(11) 梅毒	(12) 破傷風	(13) パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	(14) パンコマイシン耐性腸球菌感染症	(14-2) 風しん	(14-3) 麻しん		
全国	634		3	11	382	4	1		8				2	7	1				2					47	2	21	6	2		2	2	45	7			26	4		1	2	37		
第36・37週報告数 四国	愛媛県	4																																								6	
	香川県	4																																									
	徳島県	5			1																																						
	高知県	1																																									
ブロック別	北海道	22			6																		3		1		1									3					1		
	東北	49			57			1					1										5		2	1	1									1					2		
	関東	224	1	6	102	2			4					2						2			11	1	10	1					15	4				8	1				20		
	甲信越北陸	23	2		36									1									3				1															3	
	東海	98		1	21				2					2									7		1							5					2	1			1	1	
	近畿	102		1	40	1								2									7		2	3				1	2	15	2			5	1					2	
	中国四国	42			19				1														5		3						1										1	6	
	九州沖縄	74		3	101	1	1							1			1						6	1	2							3	1			3	1					3	
	週推移	全国	310	2	6	175	2	1		6				2	3	1								27	1	13	4	1		1		26	2				9	1			1	1	17
36週		324	1	5	207	2			2					4						2			20	1	8	2	1		1	2	19	5				17	3				1	20	
35週		334	3	14	251				1							4	1	1		4			13		14	1	3		1	1	12				7	2			1	3	21		
34週		304	1	14	190	1			6					3	5		1			1			10		9	2	1		2	2	14	1			4	2			1	2	26		
2008年累積数	全国	19004	39	228	3253	35	23	33	137	10	5	2	2	123	63	52	1	4		1	34	4	3	637	7	610	168	138	6	107	88	1070	60	10	1	588	85		59	273	10774		
	四国	愛媛県	178		1	28																		3		8	4			2	1	5				8	1			1	40		
		香川県	146			22				1											1			6		3						9				7				1	10		
		徳島県	149			11											2							2		1						1	2				1	1		1	3		
		高知県	112			4											1							5			4	2				3	1			4	3			1	5		
	ブロック別	北海道	1	498		6	76	2		12	5	9												21		16	2	9		1	1	20	1	1			9	7		4	11	1453	
		東北	1278	4	9	338			2	12		3	1	55	4	1					1	3		56		31	5	8	2	8	2	21				20	8		1	9	287		
		関東	6684	21	93	766	18	11	11	53		1	1	1	13	33	6	1	1		1	23	1	1	168	2	255	46	32	3	34	28	535	36	4	1	217	24		28	98	6274	
		甲信越北陸	852	8	11	314			1	3					14	3								73		26	9	8			9	8	28	2			24	5		2	16	156	
		東海	2530	1	12	322	4	4	4	13					4	9	11		3					95		66	12	13		16	11	120	2			94	13		12	26	496		
近畿		3135	1	26	509	8	6	1	27		1		1	1	9	5							119		138	49	35	1	17	20	217	10	3		71	5		4	41	791			
中国四国	1619		5	291	1			13					9	1	14							65		35	25	14		10	5	57	5			41	7		3	35	363				
九州沖縄	2408	4	66	637	2	2	2	11	1				27	4	15							2		40	5	43	20	19		12	13	72	4	2		112	16		5	37	954		

・医療機関での診断日をもとに集計。集計日以降の報告数は、次週以降の累積に反映されます。

・2008年5月12日からの法改正に伴い、疾病の名称及び並び順を一部変更しました。

(2008.9.17集計)